

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	利用者が話しやすい環境づくりや意向を傾聴しながら共に暮らしているが利用者の心身の状態が低下し介護に時間をとられ一緒に過ごす時間が少なくなり利用者が時間を持て余している事が多くなっている。	利用者それぞれの出来る力を引き出し共に過ごせる時間を持てるようになりたい。	週刊誌、塗り絵、計算ドリル、ゲームなど種々を試みて個々に合う娯楽を見つける。	6ヶ月
2	40	食事を楽しむ事の支援について、現在職員は弁当等を持参している。グループホームの特性を考え「利用者と同じメニューの食事を出来ないものか」と意見が有りました。	事業所会議で意見交換し検討する。又法人全体としての考えを伺う。	お弁当やコンビニで買った弁当を持ち利用者と一緒に食べているが利用者からいろいろな問い掛けが有り互いの食事について話し合っているのが現状のままでも良いのではないか。昼食作りのメニュー、外食の時の参考にもなっている。又、集団食中毒の防止等を考慮すると現状程度の方法が最善と考える。	0ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。